

**ベルモント・フォーラム 2015 年 CRA(共同研究活動)関連公募**  
**「Transformative Knowledge Networks」に関する課題募集について**

独立行政法人 科学技術振興機構

2015 年 1 月

※この文書は本公募の概要を説明した資料であり、応募する際には、必ず「3. 公募の目的とトピック」の項記載の公募ページ（英文）を参照して下さい。内容に相違ある場合は、公募ページ記載内容を優先します。

1. ベルモント・フォーラムとは：

ベルモント・フォーラムとは、地球の環境変動研究を行う世界の主要先進国・新興国のファンディングエージェンシー（研究支援機関）および国際的な科学評議会の集まりです。国際的な資金・研究者を動員し、連携することにより、人類社会の持続可能性を阻む重大な障害を取り除くために必要とする環境関連の研究を加速させることを目的としています。ベルモント・フォーラムの活動は各国の既存研究支援による投資に対して付加価値を与えるものです。

ベルモント・フォーラムでは様々な分野において同時並行的に研究協力活動（Collaborative Research Action: CRA）を行っており、2012 年に「水の安全保障（Freshwater Security）」「海岸線の脆弱性（Coastal Vulnerability）」の2つの CRA、2013 年には「食料安全保障と土地利用変化（Food Security and Land Use Change）」で公募が行われました。」

ベルモント・フォーラムには次の国のファンディングエージェンシー等および国際科学評議会がメンバー国として参加しています：

アメリカ：NSF、フランス：ANR、オーストラリア：CSIRO、オーストラリア：BMWF、ブラジル：FAPESP、カナダ：NSERC、中国：NSFC、欧州委員会、ドイツ：BMBF 及び DFG、インド：MoES、日本：MEXT、JST、ノルウェー：RCN、南アフリカ：NRF、英国：NERC、国際科学評議会（ICSU）、国際社会科学評議会（ISSC）（2014 年 4 月現在）

ベルモント・フォーラムの詳細について下記のウェブサイトをご参照ください。

URL: <https://www.belmontforum.org/>

2. 本公募の趣旨：

本公募は、国際社会科学協議会（ISSC: International Social Science Council）と南アフリカ国立研究財団（NRF: National Research Foundation）の共同公募となっています。また、スウェーデンのスウェーデン国際開発協力庁（SIDA: Swedish International Development Cooperation Agency）も支援を行っています。本公募は、Future Earth 構想の推進及び 2015 年のベルモント・フォーラムの CRA 活動である「Transformations to

Sustainability（持続可能性に向けた社会変容）」の一環として実施されるものです。JSTはベルモント・フォーラム事業の関連活動として公募に参加するものであり、研究ネットワーキングの共同提案を募り、採択した課題を支援いたします。

### 3. 公募の目的とトピック

#### (1) 目的

本プログラムは、地球全体でより持続可能で且つ、より公正な社会となることを目指して、情報提供を行ったり社会変容を可能にしたりするための支援を行うものです。社会変容を起こす社会的変化についての理解を広め、また深めることにより、以下の効果が期待されます。

- ・地球環境変動と持続可能な発展の問題について、より効果的で、長続きする、公正な解決策が立案される。
- ・政策決定者、実行者、民間業者、市民や活動家によるそのような知識の利用頻度が増加する。
- ・社会変容に関する世界的な知識トラストを作り上げる。

#### (2) トピック

本公募では以下のテーマに焦点を当てています。

本公募の主要な二つのテーマ：

- (ア) 持続可能性に至る社会変容 – Transformative Knowledge Network（社会変容を起こす知見のネットワーク、以下 TKN と略す）は国際社会科学協議会の「地球環境変化に向けた社会科学の革新的基盤」の枠組みに基づき、社会変容のプロセスに関する比較研究を国際的に実施する予定である。新しい知見を生み出す取り組みの中で、TKNは、多様な社会科学、人間科学分野からの社会変革と社会変化のプロセスにおいて既存の知識体系を駆使することを明確に追求すべきである。
- (イ) 適用の具体的文脈 – 社会変容に関する研究は地球環境変動と個別の社会生態学的な状況における持続可能性の具体的な問題に関連して行われるべきである。そのような問題としては、たとえば気候変動、水や食料の安全保障、生物多様性の損失、エネルギー生産と消費、廃棄物管理と都市化、またそれらと持続可能でない成長形態、絶えざる貧困問題、拡大する不平等格差や社会不満と複雑な相互作用といったものも含まれる。社会変容の需要・機会と個別の環境に関する課題や持続可能性に関する課題との間の関連がない提案は対象外となる。

より詳細な内容および応募先サイトについては、下記公募ページをご参照ください：

<https://www.worldsocialscience.org/2014/12/call-proposals-transformations-sustainability-programme-transformative-knowledge-networks/>

### 4. 公募期間：平成 26 年 12 月 18 日～平成 27 年 4 月 1 日午前 7 時（日本時間）

### 5. 公募する提案の種類と予算：

今回の公募では、下記の提案を求めています。

研究期間： 3年間

支援額：総額約 2,800 万円（3年間、3プロジェクト支援想定）。

（間接経費含む。間接経費は直接経費の 10%を上限とする）

なお、支援額については、具体的な研究内容や採択数、毎年の予算規模によっても変動することがあります。

## 6. 応募条件：

応募に当たっては下記条件を満たす必要があります。

### （ア）社会科学の主導：

- ① TKN は研究に強い関心を持つ学術機関などの組織に属する社会学者（社会科学で博士号を取得しているかあるいは最低五年間相当の社会科学の経験を持つ）がとりまとめをしなければならない。
- ② TKN は低中所得国の一人の社会学者あるいは二人の社会学者と最低一人の低中所属国の社会学者のチームがとりまとめるべきである。後者の共同チームの場合には、主導責任の分担を説明しなければならない。

### （イ）国際的比較研究：

比較研究は最低 3 カ国で世界の少なくとも 2 地域（地域の定義は世界銀行の 7 地域分類に従う：サハラ以南アフリカ地域、東アジア・太平洋地域、ヨーロッパ・中央アジア地域、ラテンアメリカ・カリブ地域、中東・北アフリカ地域、南アジア地域、高所得国地域）にまたがり、且つ、本研究に関連する各国にその地域のことをよく知る共同研究者が含まれること

### （ウ）学際研究：

TKN は主要な学術分野（焦点を当てる具体的な問題によるが、適宜、社会科学・人間科学・自然科学工学、医学といった分野）の研究者を含むこと。地球環境変動、貧困、開発分野の研究コミュニティとの連携をと 0 区に強調すること。

### （エ）トランスディシプリナリティー研究：

TKN は共同の研究デザイン、共同の研究成果創出、共同の研究成果普及を学界・非学界の有識者（たとえば、実践者、市民社会、非政府組織、政策立案者、経営層、企業家、メディア）と共に追求すること。

### （オ）統合的協業：

各パートナーは本ネットワークの目的の達成に重要な貢献をすること。責任分担、資金分担にも反映すること。提案書には協業による付加価値を明確に示すこと。

### （カ）能力開発：

TKN は

- ① 低中所得国の有識者のパートナーが複数いること
- ② 博士号取得後 10 年未満のキャリアの少ない社会学者に対する直接的な便益を提示すること

③ 非学界の有識者パートナーが TKN に実質的に参加できるようにすること

TKN の活動は特に発展途上国の主要なアカデミックな教育ネットワークやアウトリーチ活動と連携し、更にそれを強化すること。

また、応募にあたってコンソーシアムの代表者を決める必要があります。

コンソーシアムの構成要素として

1) コンソーシアムの研究代表者 (LPI Leading Principal Investigator)

コンソーシアムの代表として全体の研究提案を取りまとめ、本公募の事務局に応募する。

2) 日本側研究代表者

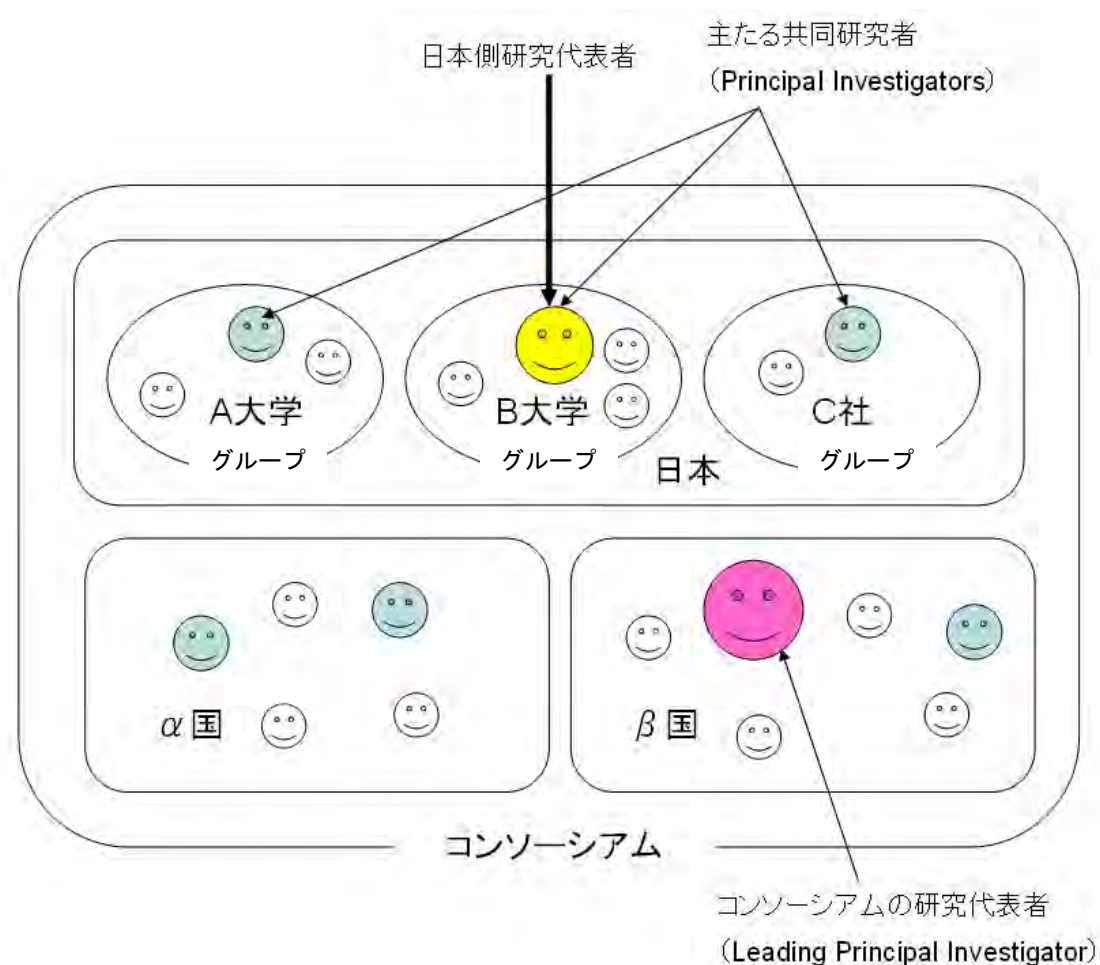
日本側の代表として、日本側研究チームの研究提案を取りまとめ、JST への応募手続、または採択された場合の取りまとめの窓口になる。

3) 主たる共同研究者

一定の役割を担って研究に参加する。

コンソーシアムに参画する日本側研究チームは、研究グループごとに（原則として、所属研究機関ごとに）「主たる共同研究者 (Principal Investigator)」を設定し、さらに主たる共同研究者の中から「日本側研究代表者」を一名設定いただきます。

※なお、日本側の研究チームは複数の研究グループにより構成する必要はありません。一研究グループでも構いません。



4) 日本側の主たる共同研究者は下記の要件を満たすことが必要です：

- ・ 国内の研究機関に所属して研究を実施できること。
- ・ 不適正経理に係る申請資格の制限等を有していない研究者であること。

## 7. ネットワーキング

TKN が待ち望まれている社会変容に関する地球規模の知識トラスト形成に貢献することを確実にするため、本プログラムでは毎年会合を持つ予定です。この取り組みの第一回は 2014 年 11 月 17～19 日にドイツポツダムで開催されたワークショップで、次回は 2015 年 9 月 11～12 日に南アフリカダーバンで世界社会科学フォーラム 2015 (9 月 13～16 日) に続けて開催する予定です。この会合への参加のための費用については、上記ウェブサイトの公募要領の **Eligible costs** の項をご参照ください。

## 8. 審査基準および審査プロセス：

上記サイトの公募要領の **Assessment criteria and proposal selection process** の項をご参照ください。

審査スケジュールは現時点では以下の通りとなっております。

2015 年 3 月 31 日 23:59 (南アフリカ時間) (=日本時間 4 月 1 日 7:00) 締め切り  
(審査)

2015年7月までに審査決定（予定）

採択課題の研究機関：2015年10月～2018年9月（予定）

9. 本件に関するお問合せ先

独立行政法人 科学技術振興機構

国際科学技術部 事業実施グループ 久保田、柿内、ガッズデン

TEL：03-5214-7375 FAX：03-5214-7379

E-mail: [belmont@jst.go.jp](mailto:belmont@jst.go.jp)

以上